

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第3週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：E型肝炎1例、レジオネラ症2例。
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒2例、百日咳5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
4類	E型肝炎	日南	50歳代	女	—	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸
	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、肺炎、多臓器不全
		延岡	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎、多臓器不全
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳
		日南	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	百日咳	都城	10歳代	男	—	持続する咳、スタックカート、ウーブ
			10歳代	男	—	夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			高鍋	5~9歳	女	—
中央			5~9歳	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,613人(定点当たり49.8)で、前週比65%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は1,835人(31.6)で、前週比55%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(50.9)の約0.6倍であった。延岡(51.3)、日南(33.8)、宮崎市(31.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

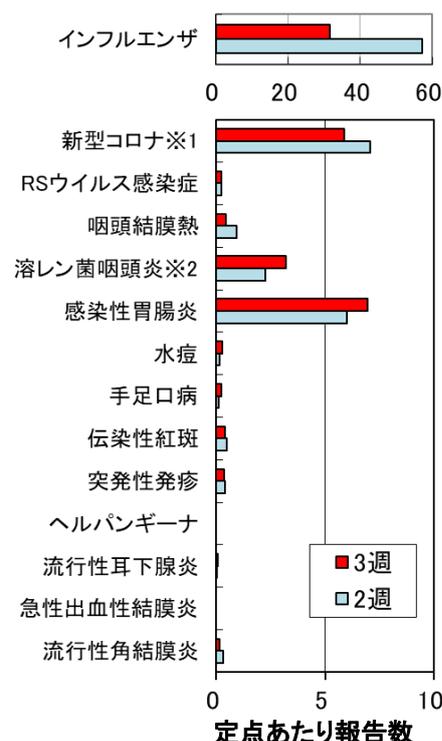
【新型コロナウイルス感染症】

報告数は340人(5.9)で、前週比83%と減少した。高千穂(8.5)、延岡(7.9)、中央(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満と60歳以上がそれぞれ全体の約3割ずつを占めた。

【感染性胃腸炎】

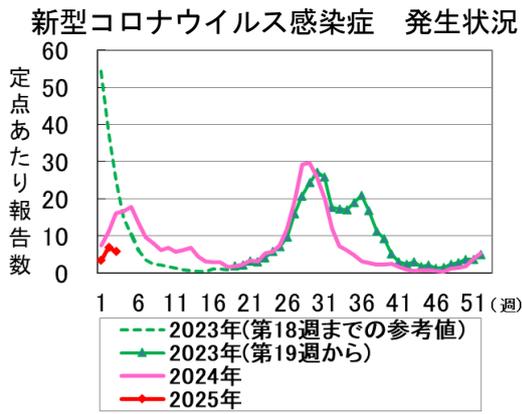
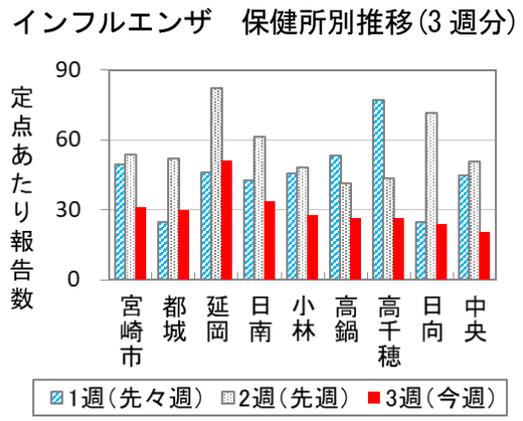
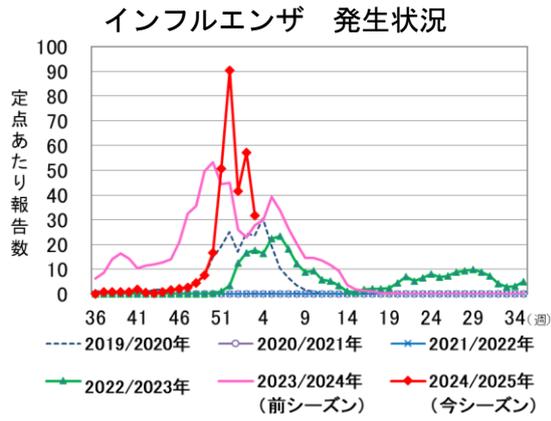
報告数は250人(6.9)で、前週比116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(11.7)の約0.6倍であった。小林(15.0)、宮崎市(8.1)、都城(7.0)、高鍋(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約4割を占めた。

《前週との比較》

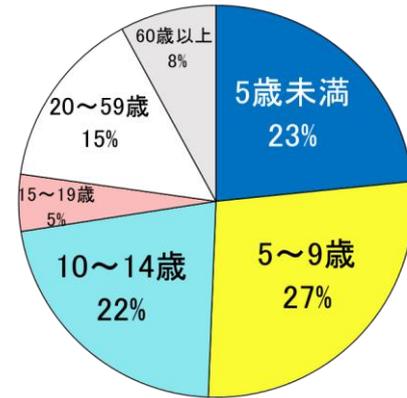


※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

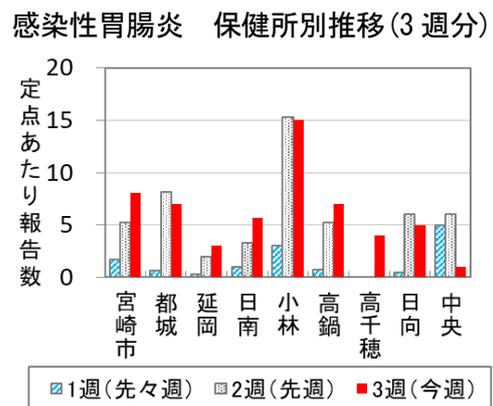
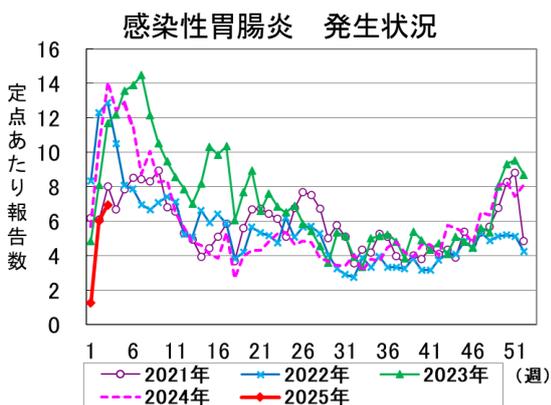
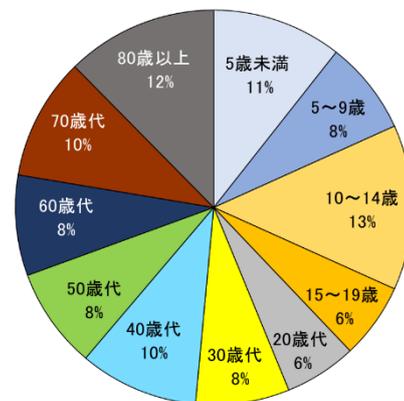
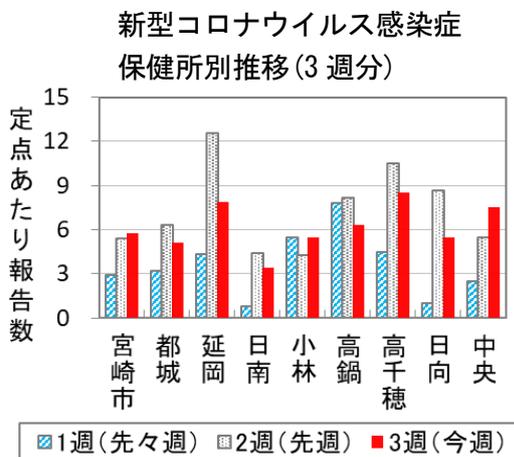


インフルエンザ年齢群別グラフ(第3週)



※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第3週)



★基幹定点からの報告★ 報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患	
宮崎市	インフルエンザ(31.3)	* 流行警報レベル開始基準値* ・インフルエンザ(30) ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
都城	インフルエンザ(30.0)	
延岡	インフルエンザ(51.3)	* 流行注意報レベル基準値* ・インフルエンザ(10)
日南	インフルエンザ(33.8)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)	
小林	インフルエンザ(27.8)	
高鍋	インフルエンザ(26.5)	
高千穂	インフルエンザ(26.5)	
日向	インフルエンザ(23.8)	
中央	インフルエンザ(20.5)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.0)	

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和7年1月20日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	20歳代	男	2024.12.02	なし	便	2024.12.11

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhino virus	0~4歳	女	2024.12.02	咽頭炎、38.0℃	鼻汁	2025.01.20

🇯🇵 全国 2025 年第 2 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	220 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	27 例	腸チフス	3 例
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	3 例	つつが虫病	11 例
	デング熱	2 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	23 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	16 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	38 例	後天性免疫不全症候群	8 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	30 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	181 例
	水痘(入院例)	8 例	梅毒	154 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	百日咳	135 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週(年末年始含む)比123%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は172,417人(35.0)で前週比104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(24.5)の約1.4倍であった。徳島県(57.4)、宮崎県(57.2)、高知県(56.4)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約半数を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は34,857人(7.1)で前週比133%と増加した。岩手県(12.8)、宮城県(12.0)、徳島県(11.5)、福島県(11.5)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は531人(1.1)で前週比144%と増加した。兵庫県(3.1)、青森県(2.7)、高知県(1.9)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は1.0であった。全国の年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2025年 第03週(01月13日～01月19日)

疾病名		第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3320	1835	500	300	359	169	111	159	53	143	41
	定点当り	57.24	31.64	31.25	30.00	51.29	33.80	27.75	26.50	26.50	23.83	20.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	409	340	92	51	55	17	22	38	17	33	15
	定点当り	7.05	5.86	5.75	5.10	7.86	3.40	5.50	6.33	8.50	5.50	7.50
RSウイルス感染症	報告数	8	8	2	2			2				2
	定点当り	0.22	0.22	0.20	0.33	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	33	16	11		1			2		2	
	定点当り	0.92	0.44	1.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	81	115	36	6	12	25		19	1	4	12
	定点当り	2.25	3.19	3.60	1.00	3.00	8.33	0.00	4.75	1.00	1.00	12.00
感染性胃腸炎	報告数	216	250	81	42	12	17	45	28	4	20	1
	定点当り	6.00	6.94	8.10	7.00	3.00	5.67	15.00	7.00	4.00	5.00	1.00
水痘	報告数	6	10	3		3	2	2				
	定点当り	0.17	0.28	0.30	0.00	0.75	0.67	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	4	8	2		1		5				
	定点当り	0.11	0.22	0.20	0.00	0.25	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	15	9	1	4					1	
	定点当り	0.47	0.42	0.90	0.17	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	15	13	7		1	1	2	1			1
	定点当り	0.42	0.36	0.70	0.00	0.25	0.33	0.67	0.25	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2			1						1
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.33	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	7										
	定点当り	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～3週 保健所受理分)

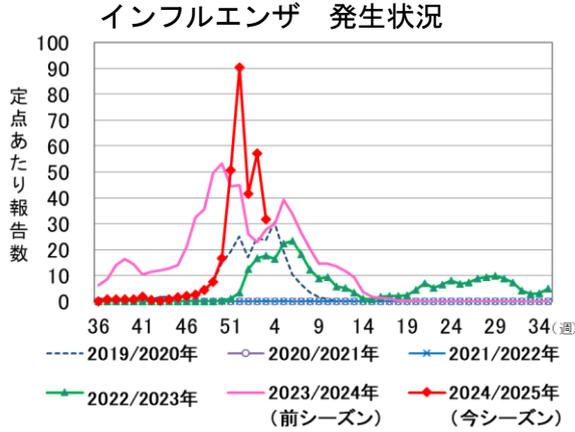
2類感染症	結核	7例(2)			
4類感染症	E型肝炎	1例(1)	つつが虫病	2例	
				レジオネラ症	2例(2)
5類感染症	急性脳炎	1例	後天性免疫不全症候群	1例	
				侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)
	梅毒	5例(2)	百日咳	10例(5)	

インフルエンザ情報《県内第3週、全国第2週（再掲）》

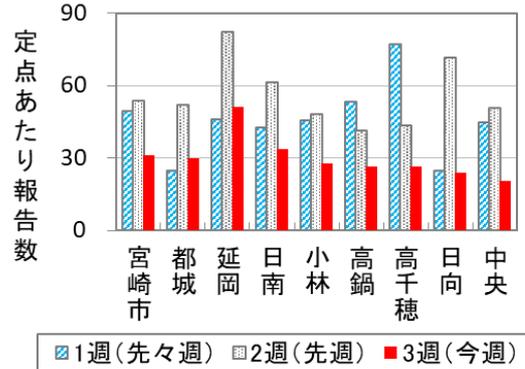
□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

1月13日～1月19日までの1週間で1,835人(31.6)の報告があった。前週比55%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(50.9)の約0.6倍であった。

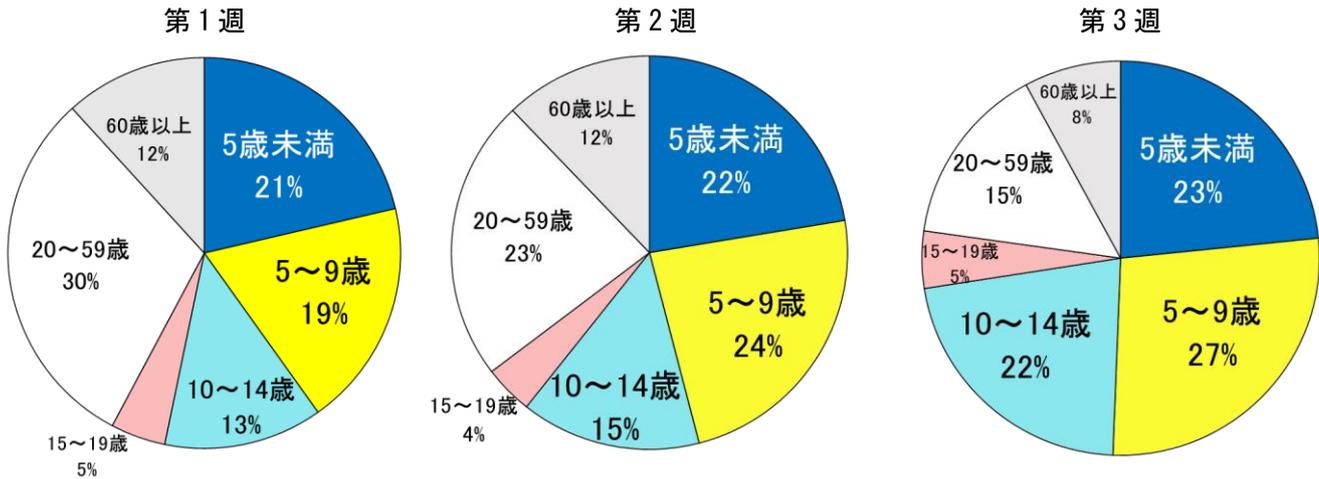
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



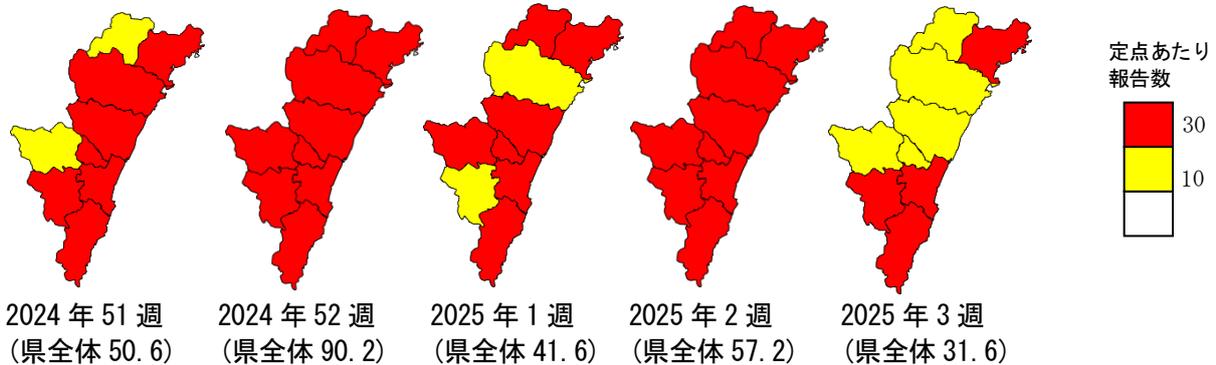
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第51週～2025年第3週



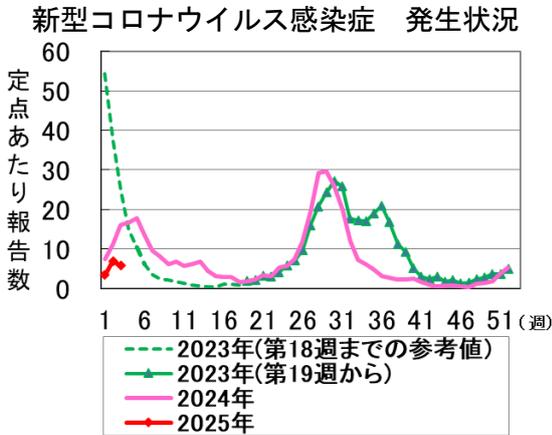
□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

1月6日～1月12日までの1週間で172,417人(35.0)の報告があった。前週(年末年始含む)比104%とほぼ横ばいで、徳島県(57.4)、宮崎県(57.2)、高知県(56.4)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が18%、10-14歳が11%、15-19歳が5%、20-59歳が32%、60歳以上が14%であった。

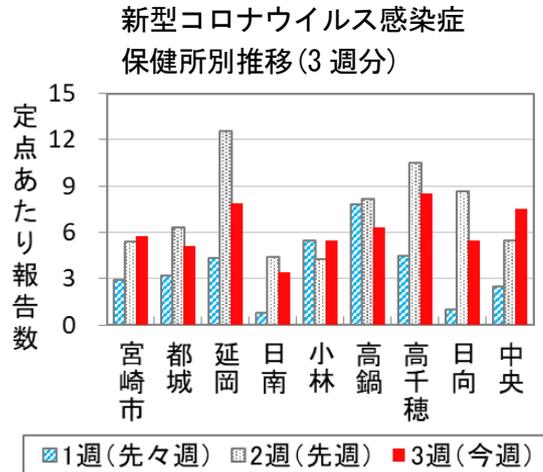
新型コロナウイルス感染症情報《県内第3週、全国第2週(再掲)》

□ 県内第3週 新型コロナウイルス感染症発生動向

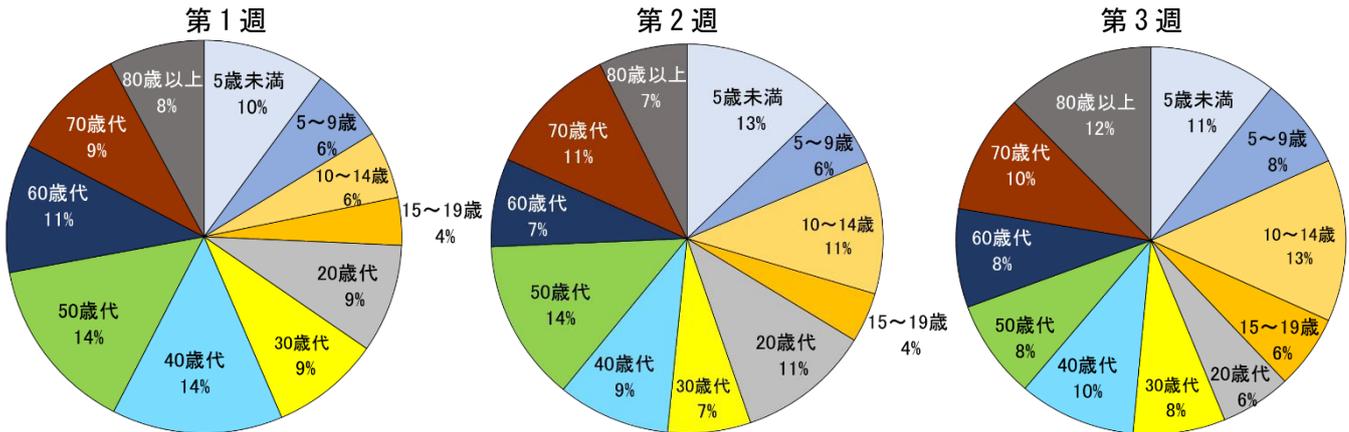
1月13日～1月19日までの1週間で340人(5.9)の報告があり、前週比83%と減少した。高千穂(8.5)、延岡(7.9)、中央(7.5)保健所管内からの報告が多かった。



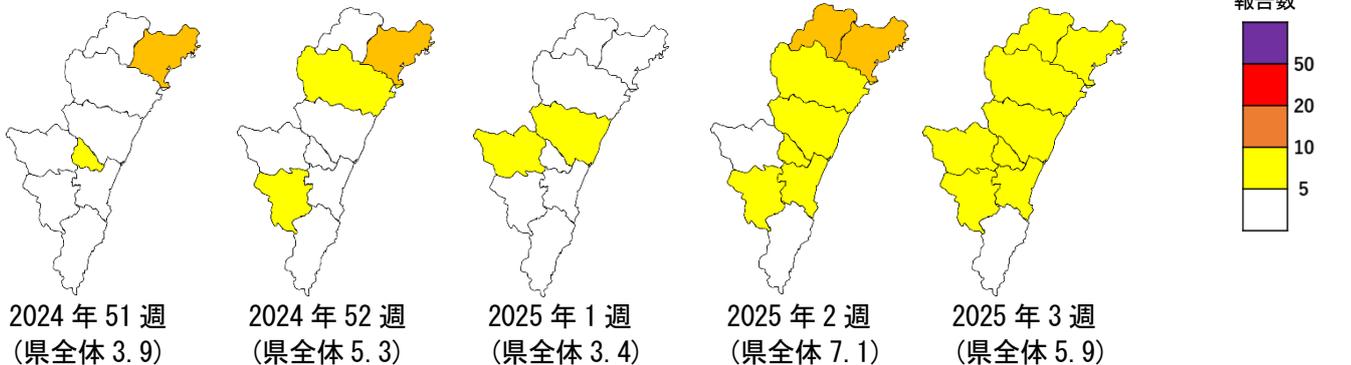
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第51週～2025年第3週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第2週 新型コロナウイルス感染症発生動向

1月6日～1月12日までの1週間で34,857人(7.1)の報告があり、前週(年末年始含む)比133%と増加した。岩手県(12.8)、宮城県(12.0)、徳島県(11.5)、福島県(11.5)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約3割を占めた。